



「自分だけじゃないんだ」  
そう安心できたのは、ママたち  
とのおしゃべりのおかげ。  
中村 紀美子さん（市場）  
駿斗くん（6か月）

るし、ああ、こんな大変なことをしてくれてたんだなって。  
吉本 親がそばに居るのは心強いですね。わたしも夫も、実家は宮崎県なので、こっちは気安く頼れる人がおらず…。この子を産む前は仕事をしていて、こういう感覚は無かったんですが、もうちょっと誰かの役に立ちたいというか…。昼間は完全に二人きりで、常時子どもとだけ向き合っていると、なんだか社会から取り残されたような孤立感や焦りを感じる時があります。  
岸谷 自分の世界がすべてこの子だけのような、自分が立ち止まってしまっている感覚に陥る時ってあるよね。周囲に知り合いがいて、お母さん自身の世界が広がってれば、そんなないんだよね。また一人目だと、特に余裕が持てずにそう感じてしまうよね。  
吉本 毎日、一日一日がはじめてのことばかりで…。でも子どもに目を向ければ、ちよつと体を起こせるようになって、寝返りするようになったり、その一つひとつの成長を見るのは楽しいんです。そのたびに、写真を撮ったり親や夫にメールしたりしています。  
岸谷 きょうだいのことは考えてる？



今、悩んでいるお母さんたちも  
勇気を持って一歩踏み出すと、  
心が救われると思います。  
松熊 紀美さん（神崎）  
威吹くん（1歳5か月）

吉本 きょうだいはほしいとは思いますが、なかなか…。この子もいるし。  
三宅 そうよね、生むとしたら上の子は誰かみるの、つてなるよね。  
中村 そうそう。うちはこの子をだっこしたら、もうすぐ4歳になる姉が、今でも「だっこ」つて言いますからね。よくいう「赤ちゃんがえり」でしょうけど…。だいたいこのことは、よくある話。つて思えるようになってきました。  
岸谷 育児の本とか読んでる？ 本と自分の子が違う場合はどうしてた？  
松熊 自分の子と本が違うことか、しょつちゅう。でも周囲の人に相談すると「個人差があるんだから、教科書どおりなんて育たないよ」つて教えられて、安心しました。  
中村 わたしは、別の本を見たりして、同じ事例を探していました。  
三宅 同じことで安心しますよね。「こ



# ママたちの「なろ」 子育ての ホンネ

2月10日「おしゃべり会」  
in コスモス保健センター

苦しみや孤立感が深まった親には不安しか見えず、子どもにしわ寄せがいきがち。福智町でも48%の親が、子育てに不安や負担を感じているという現状です。年中無休で子育て中のママたちは、その不安をどうやって解消しているのでしょうか。おしゃべり会に潜入して聞いてみました。

※平成21年7月実施 子育て世帯（1千世帯抽出）へのニーズ調査結果



子どもはかわいいし、楽しい。  
だけどたまに、孤立感や焦りを感じてしまう時があります。  
吉本 美幸さん（伊方）  
楓花ちゃん（5か月）

中村 子育てをしていて一番感じるのは、ゆつくりとした時間がないこと。子どもがいると、落ち着いて新聞を読む時間もほとんど無いでしょ。  
吉本 唯一、子どもが寝ている間は、家事に追われますからね…。  
三宅 うちは、夫が休みの日などに、よく「公園に連れて行こう」と言ってくれるので、助かっています。その間に家のことをしたり、一息ついたりして。  
岸谷 お父さんの育児参加ってある？  
三宅 ある日、夫が子どもにパンツをはかせてくれて、それはいいんですが、シャツを全部パンツの中に入れてちゃって。大変なことになったことはあります（笑）。そうやって、親も失敗しながら成長していくのかもしれないね。  
中村 うちも、言えばミルクやオムツ、お風呂など、子どもの世話をしてくれませんが、どうしてもパパが接する時間  
シャツが全部パンツの中に！（笑）  
そうした失敗を繰り返しながら、  
親も一緒に成長していくのかも。



三宅 彰子さん（赤池）  
哲平くん（2歳6か月）

三宅 親になつてはじめて、親のありがたみが分かりますよね。頼りにもなラしてしまっていました。そんな時、母の勧めで「子育て支援センター」に行っただけです。外に出てみると、世界がずいぶん変わりましたよ。  
吉本 毎日、散歩や買い物など、外に出ようとは思っていますが、それじゃ物足りないというか…。人と話す機会があったほうがいいのかもしれない。  
松熊 それは本当に実感しますね。外に出てみることで、いろんな人の意見も聞けて参考になるし。わたし自身は、かなり心を救われました。  
岸谷 おしゃべりの中の、ちよつとした一言などがきっかけで、悩みがほつと解決したり、自分で「これでいいんだ」つて納得したりすることがあるからね。  
松熊 だから今、一人で悩んでいるお母さんたちにも、ぜひ少しでも勇気を持って、外に出てみてほしいですね。きつと全然違うと思いますよ。



ママの笑顔が  
みんなの願い  
岸谷 元美さん（赤池）

子育てには自分の親がかなり助けになります。親の世代とはある程度の年齢差があり、環境も随分違うので、昔はこれで良かったということが、今では良くないこともあります。昔の子育てをうのみにせず、親が流されないよう、一貫性を持って子育てしていくことが必要です。発達段階で不安に思うことなどもありますが、ぜひ、同じ環境で話し合える友だちを作って、不安や悩みをため込まないでほしいですね。ママの輝きが家族の元気の源ですから。  
おしゃべり会の詳細については → P.7